



千地申第4号

「蘇我運輸区への助勤」 に関する申し入れを行う！

4月から「新たなジョブローテーション」が実施され、キャリアプランに基づき千葉運輸区と佐倉運輸区へ人事異動が行われました。しかし、蘇我運輸区では要員不足が発生し、異動して4ヶ月足らずで元の蘇我運輸区に助勤で戻されるという事態になっています。

この助勤に対して職場では予期できなかったと説明しているようですが、職場の組合員からは「要員が足りなくなる予測は出来ていた」「施策実施ありきだ」など、現場第一線と支社との間の認識に乖離が現れています。

また、助勤を要請された社員は「せっかく覚えた線区を忘れてしまう」「やっと職場に慣れてきたのに」などの意見や、助勤の要請をされて考えている最中、最終的には業務指示を出さざるを得ないという趣旨のことも言われていると聞いています。

私たちは、助勤や施策を否定するつもりはありませんが、施策と人事異動の関係がかみ合わないことで、本人のモチベーションの低下はもちろんのこと、職場に負担がかかり、安全レベルが低下してしまうのではないかと危機感を持っています。地本は今後このような事象を発生させないために、下記の通り申し入れを行いました。

1. 蘇我運輸区への助勤が必要になった経緯を明らかにすること。また、職場に「ゆとりある業務執行体制」と「社員のキャリアプラン」を実現すること。

ジョブローテーション施策を担う組合員の
働きがいを守るため、団体交渉を行います！